

ニッセイ インターネットアンケート

～3月:「あなたの家庭」に関する調査結果について～

日本生命保険相互会社(社長:筒井義信)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ(<http://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「あなたの家庭」に関するアンケート調査を実施いたしました。

《調査概要》

- 調査期間：平成28年1月4日(月)～1月31日(日)
- 実施方法：インターネット(PC・携帯電話モバイルサイト)による回答
- 調査対象：「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューアンケートへの訪問者
- 回答者数：20,120名(男性:11,319名、女性:8,801名)

＜年代別回答者数＞

(名, %)

年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
男性	537	1,645	3,414	3,500	1,688	535	11,319
女性	656	1,583	2,694	2,357	1,097	414	8,801
合計	1,193	3,228	6,108	5,857	2,785	949	20,120
占率	5.9	16.0	30.4	29.1	13.8	4.7	100.0

《調査結果のポイント》

ポイント① 家事メンは増加するか？
質問1 30代～40代男性の半数以上が家事をする時間を増やしたいと回答。

ポイント② 消費増税が影響か？
質問2 94.2%の方が、自由に使えるお金は「変わらない」もしくは「減った」と回答。

ポイント③ 家庭における理想の夫は福山雅治さん、理想の妻は吉永小百合さんが1位に。
質問6 また、男性が選ぶ理想の妻には「現在の妻」もランクイン。

質問 1 あなたの家庭で主に家事をする方は？（同居人がある方への質問） （回答者数：17,738名）
あなた自身が1日に家事をする時間はどのくらいですか？

（回答者数：20,108名 うち、一人暮らしの方を除く17,883名を集計）

家事をする時間を増やそうと思えますか？（男性への質問）

（回答者数：10,088名 うち、一人暮らしの方を除く9,924名を集計）

- 家事の担い手は主に女性で、男性が家事をする時間はおよそ30分未満。
- 女性が家事をする時間は男性の約4倍。
- ただし、30代～40代の男性は、家事をする時間を増やそうと思う方が半数を超える結果となった。

<主に家事をする方>

(%)

	男性	女性	合計
あなたの配偶者(恋人・婚約者を含む)	68.8	2.1	40.0
夫婦で分担	12.6	9.2	11.1
夫婦以外の同居者	9.4	13.6	11.2
あなた自身	9.1	75.0	37.5
家事代行サービス業者など、同居人以外	0.2	0.2	0.2
合計	100.0	100.0	100.0

<あなた自身が1日に家事をする時間>

(分)

	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
男性	27.3	29.3	25.8	26.0	32.6	32.6	27.8
女性	74.9	114.9	115.1	114.8	117.3	100.6	111.7
総計	55.0	71.9	65.5	60.9	64.1	59.3	64.2

<家事をする時間を増やそうと思うか（男性の方への質問）>

(%)

	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
思う	47.8	57.6	52.9	48.5	44.7	38.7	50.0
思わない	52.2	42.4	47.1	51.5	55.3	61.3	50.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※「思う」は、「大いに思う」と「思う」、「思わない」は、「思わない」と「まったく思わない」と答えた方を合算。

<ニッセイ基礎研究所 井上智紀 准主任研究員のコメント>



女性の大半が主に自分が家事の担い手になっていると考えているのに対し、男性では配偶者に委ねている方は7割に満たず、夫婦で分担している方が1割を超える結果となりました。一方で、1日あたりの家事時間では年代を問わず女性が男性を大幅に上回っていることから、男性の意識に対し実際の家事参加はまだ十分には進んでいないといえそうです。

ただし、30代～40代の男性では、半数以上が家事時間を増やす意向を持っていることから、男性の家事参加は実態としても徐々に進んでいくことが期待できるのではないのでしょうか。

質問2 自由に使えるご自身のお金はひと月あたりおいくらくらいですか？
昨年と比べて増えましたか？

(回答者数：20,120名)

○ひと月あたり自由に使えるお金は、平均して51,755円。
○昨年と比べて「変わらない」もしくは「減った」と回答した方が多いものの、年代別にみると、20代までの層で「増えた」と回答した方が多い結果に。

<ひと月あたり自由に使えるお金>

(円)

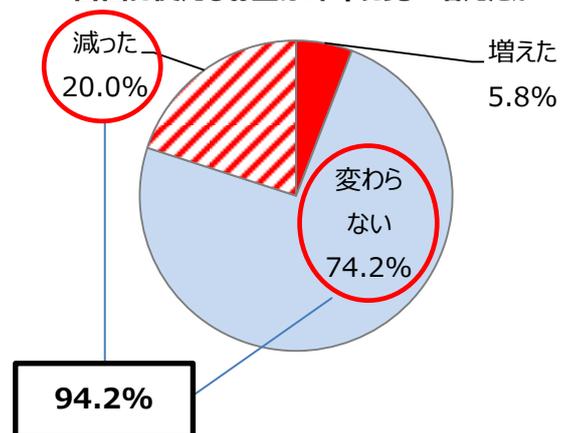
	男性	女性	全体
～20代	47,569	41,789	44,391
30代	45,162	34,761	40,062
40代	75,669	34,617	57,563
50代	58,624	43,402	52,498
60代	51,356	56,464	53,368
70代～	50,819	58,331	54,096
全体	59,831	41,369	51,755

<昨年と比べて増えたか>

(%)

	増えた	変わらない	減った	合計
～20代	15.8	58.7	25.5	100.0
30代	8.1	70.4	21.5	100.0
40代	5.4	75.4	19.2	100.0
50代	4.5	75.7	19.9	100.0
60代	3.8	77.1	19.1	100.0
70代～	2.4	80.7	16.9	100.0
合計	5.8	74.2	20.0	100.0

自由に使えるお金は昨年と比べ増えたか



質問3 子どものお小遣いはいくらくらいですか？

(回答者数：13,042名)

○小学生までの子どものお小遣いは、世帯の年収にかかわらず概ね同程度の結果に。

(円)

世帯の年収	子どもの年齢			
	小学生(低学年)	小学生(高学年)	中学生	高校生以上
300万円未満	298	293	1,003	2,131
300万円～500万円未満	226	496	1,495	1,720
500万円～700万円未満	266	534	1,233	2,962
700万円～1,000万円未満	345	717	1,680	3,869
1,000万円～2,000万円未満	141	499	2,295	7,137
2,000万円以上	167	400	3,813	18,153
合計	264	553	1,605	3,635

質問4 子どもに見習ってほしい著名人は誰ですか？

(回答者数：13,826名)

○1位になったメジャーリーグのイチロー選手をはじめ、上位には現役のスポーツ選手が多くランクイン。

(名)

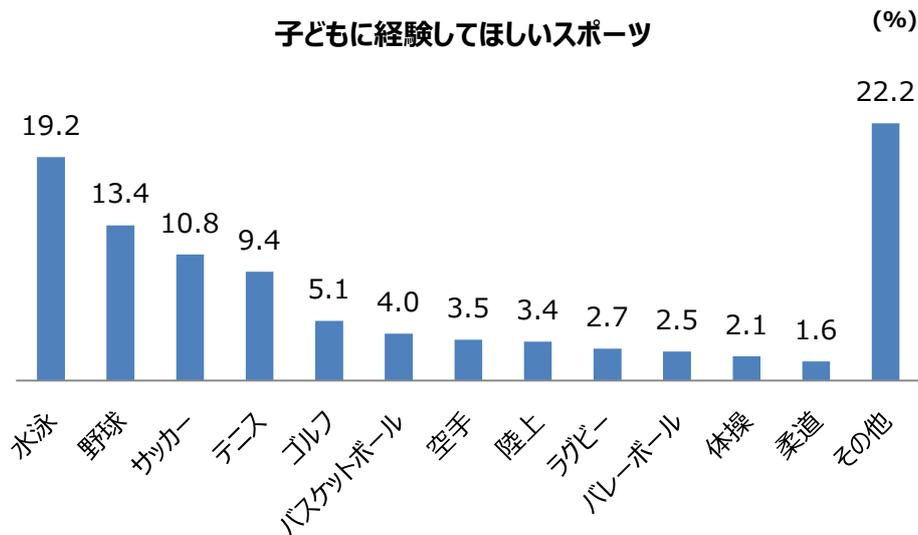
順位	全体		20・30代		40代以上	
	名前	票数	名前	票数	名前	票数
1位	イチロー	1,126	イチロー	263	イチロー	863
2位	羽生結弦	994	羽生結弦	219	羽生結弦	774
3位	錦織圭	689	錦織圭	162	錦織圭	527
4位	五朗丸歩	356	浅田真央	116	五朗丸歩	293
5位	浅田真央	334	五朗丸歩	62	浅田真央	218
6位	松岡修造	153	芦田愛菜	56	松岡修造	119
7位	石川遼	143	綾瀬はるか	40	石川遼	117
8位	福山雅治	138	鈴木福	40	木村拓哉	111
9位	綾瀬はるか	136	松岡修造	34	福山雅治	105
10位	木村拓哉	135	福山雅治	33	松井秀喜	103

※敬称略

質問5 子どもに経験してほしいスポーツは何ですか？

(回答者数：20,120名)

○経験してほしいスポーツでは、「水泳」が1位に。



<ニッセイ基礎研究所 井上智紀 准主任研究員のコメント>

一昨年の消費税率の8%への引上げの影響や、今後の引上げを考慮してか、賃金水準は着実に上昇しているものの、小遣いなど自身の裁量で自由に使えるお金にまで恩恵が広がる状況には届いていないようです。

子どもに見習ってほしい著名人は、若干の差異はあるものの、年代によらず上位5位までは同じ顔ぶれが並んでいます。いずれもプロとして真摯に競技に向かい、大きな成果につなげているさまが、広く共感をあつめている理由といえるのではないのでしょうか。

質問6 家庭において、こうあってほしいという理想の夫もしくは妻は誰ですか？

(回答者数：14,958名)

○理想の夫は福山雅治さん、理想の妻は吉永小百合さんが1位に。
 ○男性が選んだ理想の妻には、「現在の妻」が6位にランクインした一方、女性が選んだ理想の夫には、「現在の夫」はランクインせず。

<女性が選んだ理想の夫>

(名)

順位	全体		20・30代		40代以上	
	1位	福山雅治	255	つるの剛士	104	福山雅治
2位	佐々木健介	213	佐々木健介	85	三浦友和	184
3位	三浦友和	192	福山雅治	68	所ジョージ	149
4位	つるの剛士	184	向井理	44	佐々木健介	128
5位	所ジョージ	183	DAIGO	34	ヒロミ	123
6位	ヒロミ	156	所ジョージ	34	木村拓哉	84
7位	木村拓哉	111	ヒロミ	33	つるの剛士	80
8位	向井理	110	木村拓哉	27	高橋英樹	73
9位	DAIGO	83	杉浦太陽	24	加山雄三	66
10位	江口洋介	83	DEAN FUJIOKA	23	向井理	66

※敬称略

<男性が選んだ理想の妻>

(名)

順位	全体		20・30代		40代以上	
	1位	吉永小百合	449	北川景子	102	吉永小百合
2位	綾瀬はるか	349	綾瀬はるか	99	山口百恵	297
3位	山口百恵	305	上戸彩	40	綾瀬はるか	249
4位	北川景子	221	石原さとみ	32	北川景子	119
5位	森高千里	123	堀北真希	28	現在の妻	106
6位	現在の妻	120	里田まい	28	森高千里	104
7位	石原さとみ	104	北斗晶	24	黒木瞳	77
8位	上戸彩	101	松嶋菜々子	20	石原さとみ	72
9位	黒木瞳	83	杏	19	山口智子	71
10位	山口智子	82	森高千里	19	上戸彩	60

※敬称略

質問7 あなたのご家庭で、あなたは週に何日、家族と一緒に食事をとりますか？
もっと日数を増やしたいと思いますか？

(回答者数：20,120名 うち、一人暮らしの方を除く17,894名を集計)

- 半数以上が、毎日家族と一緒に食事をとると回答しており、その傾向は全年代で共通。
○家族と一緒に食事をとる日数が少ない方のおよそ半数は、回数を増やしたいと思っている。
○一方、1日も食事を一緒にとっていない方のうち約7割は、このままで良いと回答。

<家族と一緒に食事をとる日数>

(%)

	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
とっていない	5.6	2.3	3.8	4.3	3.4	3.5	3.7
1日	3.7	3.3	3.5	3.3	1.7	1.2	3.1
2日	8.6	10.5	12.2	9.8	3.6	2.4	9.4
3日	9.1	8.1	7.7	8.9	4.6	2.8	7.5
4日	9.4	5.8	6.0	5.4	4.1	2.9	5.6
5日	11.2	9.2	7.8	8.8	6.8	5.7	8.3
6日	8.6	6.9	6.4	7.5	9.0	7.3	7.4
7日	43.7	53.8	52.6	51.9	66.6	74.2	55.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

<家族と一緒に食事をとる日数を増やしたいと思うか>

(%)

	増やしたい	このままで良い	減らしたい	合計
とっていない	32.6	66.5	0.9	100.0
1日	55.0	43.5	1.5	100.0
2日	61.0	38.6	0.4	100.0
3日	47.5	51.6	0.9	100.0
4日	33.0	66.3	0.7	100.0
5日	17.5	81.2	1.4	100.0
6日	6.2	91.9	1.9	100.0
7日	1.7	96.1	2.2	100.0
総計	16.9	81.4	1.7	100.0

<ニッセイ基礎研究所 井上智紀 准主任研究員のコメント>

年代を問わず概ね半数以上の方が毎日家族と食事を共にしている一方で、50代以下の層では4人に1人が「3日以下」しか家族と食事を共にできていないようです。

一方で、家族と一緒に食事をとる日数が少ない方ほど日数を「増やしたい」と考えている割合が高い傾向にあることは、多くの方にとって食事を介した家族とのコミュニケーション不足が家庭生活における課題であり、ワーク・ライフ・バランスの向上に向けて更なる取組みが求められるといえるのではないのでしょうか。

質問 8 家族への感謝の気持ちは伝えていますか？

(回答者数：20,120名)

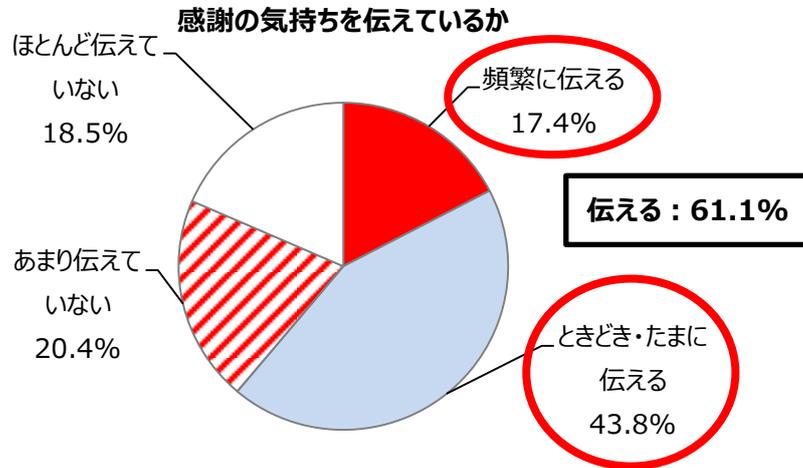
伝える手段は何ですか？(伝えると回答した方への質問)

(回答者数：12,185名)

伝えていない理由は何ですか？(伝えていないと回答した方への質問)

(回答者数：6,821名)

○6割以上の方が感謝の気持ちを伝えると回答。
 ○感謝の気持ちを伝える手段としては、「直接話す」と回答した方が圧倒的に多く、約9割となった。



<伝える手段は何ですか>

<伝えていない理由は何ですか>

伝える手段	占率 (%)
直接話す	87.8
メール	4.3
プレゼント	2.5
電話	2.3
SNS	1.7
その他	0.9
手紙	0.4
ビデオ通話	0.1
合計	100.0

伝えない理由	占率 (%)
伝えるのが苦手だから	29.1
恥ずかしいから	18.2
伝える機会がないから	18.1
その他	15.3
面倒だから	11.8
離れて暮らしているから	7.6
合計	100.0

以上